第12号　令和8年　10月発行　発行責任者／中山　大



長崎市議会議員 中山大 市政だより Vol.12

「魅力溢れる長崎の創造!!」

背景：市議会議場

事務所

長崎市馬町12-3　宮前ビル5F
TEL：070-9508-1608
FAX：095-864-0707
mail：d.nakayama0319@outlook.jp

市政役職等

議会運営委員会 …… 委員長
総務委員会 …… 委員

政党　国民民主党長崎県連

その他

桜町地区コミュニティ設立準備委員会 …… 委員長
大井手町自治会 …… 会長代理
長崎市ソフトボール協会 …… 副会長
長崎工業高等学校育友会 …… 副会長



ホームページ HP開設しました!!

ホームページ

公式 LINE アカウント（中山大応援隊）

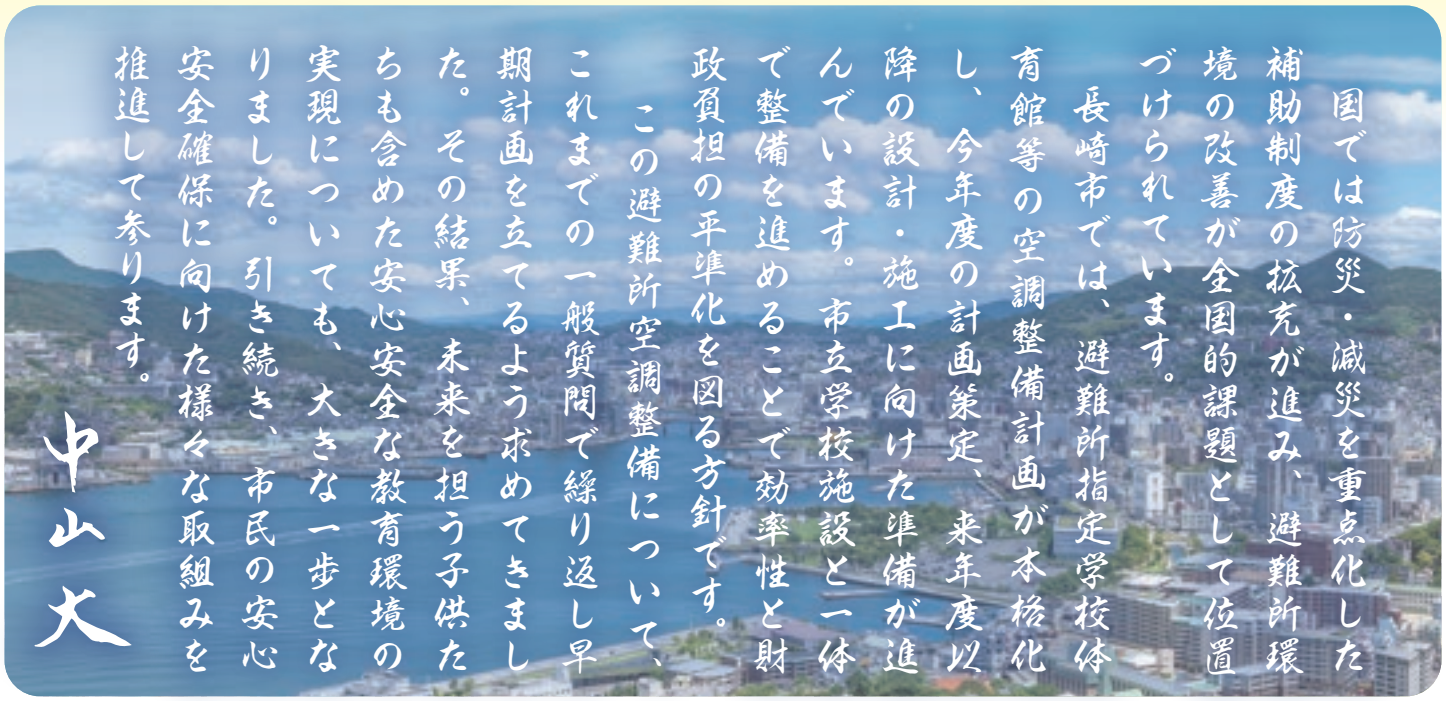
Facebook

インスタグラム

お好みの「SNS」QRコードをスキャンして下さい^^

日々の活動状況を適宜配信しています。
お気軽にご登録下さい。





国では防災・減災を重点化した補助制度の拡充が進み、避難所環境の改善が全国的課題として位置づけられています。

長崎市では、避難所指定学校体育館等の空調整備計画が本格化し、今年度の計画策定、来年度以降の設計・施工に向けた準備が進んでいます。市立学校施設と一体で整備を進めることで効率性と財政負担の平準化を図る方針です。

この避難所空調整備について、これまでの一般質問で繰り返し早期計画を立てるようお願いしてきました。その結果、未来を担う子供たちも含めた安心安全な教育環境の実現についても、大きな一歩となりました。引き続き、市民の安心安全確保に向けた様々な取組みを推進して参ります。

中山大

地域活動リポート（令和8年6月～8月）



8/15 精霊流し



6/27「桜町みらいトーク」



7/9 明治安田生命子供見守り活動



8/22 桜町地区夏まつり



9/22 中学軟式野球九電旗杯



9/24 街頭活動

令和8年9月　第4回長崎市議会定例会レポート



令和8年9月定例会の概要

9月市議会定例会は、9月1日を招集日として開会され、一般質問通告期間や請願受付期限が設定される中、計26件の議案が審議されました。人事案件では教育委員会委員の任命や人権擁護委員候補者の推薦が提出され、予算関係では一般会計・特別会計・企業会計の補正予算が審議されました。

条例改正は景観、火災予防、手数料など6件、契約案件では学校施設のLED化や端島護岸補強工事など公共施設の更新・安全対策に関する内容が中心です。また、専決処分として損害賠償や和解、契約変更に関する3件の報告が行われました。

補正予算総額は12億9,753万円で、物価高騰対策や新市庁舎跡地再整備、原爆資料館設備調査、災害復旧など、市民生活の安全・安心を支える事業が盛り込まれました。

ながさきスポーツ・文化活動支援事業

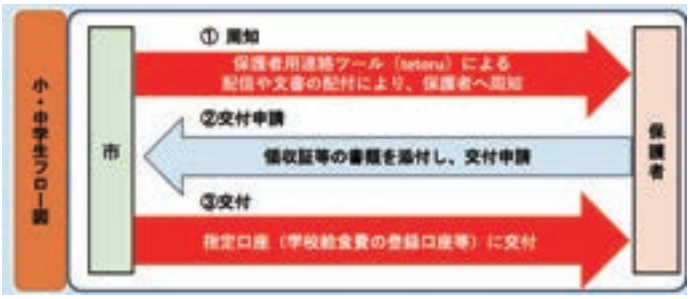
物価高騰の影響を受ける子育て世帯を支援し、児童・生徒のスポーツや文化活動を後押しするため、長崎市は「ながさきスポーツ・文化活動支援事業」を新たに実施します。

本事業は県補助金を活用し、市立小・中学校の児童生徒に対し、小学生2,000円、中学生3,500円を上限に、部費、用具購入費、大会旅費などを補助するものです。

申請は10～11月、交付は令和9年1月を予定しており、事業費は4,370万円です。

また、高校生については長崎商業高校PTAを通じて支援し、676人に対し1人6,000円を補助します（事業費405万円）。

これらを合わせた一般会計補正額は5,674万円となり、子どもたちの活動環境を守るための重要な支援策となっています。



市庁舎本館跡地等の整備状況

市庁舎本館跡地の整備について、市は新文化施設と余剰地、桜町近隣公園を一体的に整備する方針を示し、官民連携手法（PFI/BTO・DB方式）を候補として検討がなされています。

令和8年11月議会でアドバイザリー業務の補正予算を計上し、令和9年度に実施方針公表・公募開始、令和10年度に事業者選定、設計施工は4～5年を想定。また、NHK長崎放送局の移転協議は順調で、約2,000㎡の移転用地についてNHKは所有権取得を希望しているとの報告を受けました。

民間事業者アンケートでは参画意向が高い一方、物価変動リスクの官民分担や提案自由度の確保が課題として挙げられました。

委員からは、NHKへの土地所有権付与の是非、桜町駐車場を事業範囲から除外する妥当性、文化施設の需要や財政負担、市民への説明不足などを指摘。

市は、財政面やまちづくり効果を踏まえ総合判断すること、周辺駐車場の活用で対応可能であること、関係者意見を要求水準書に反映する方針を述べました。

市庁舎本館跡地等の整備状況の詳細は※HPご参照

PCはこちら▼　スマホはこちら▼

https://nakayama-dai.com/

中山大　公式



★資料①:市庁舎本館跡地等の面的整備の検討状況

指定避難所等の空調設備整備計画

本業務は、市立学校体育館等114施設を対象に、避難所機能強化を目的とした空調設備整備計画を令和8年度に策定するものです。

現地調査・熱源比較・空調方式検討を行い、令和9～15年度で段階的に整備する。熱源は13年トータルコストと停電時稼働性から、現時点としては、都市ガスGHP電源自立型を最有力とし、LPガスGHPを次点とする。空調方式は天吊り型または天吊り+輻射パネルを採用候補とし、避難所指定校81施設を優先整備。

委員質疑では、①環境性（CO_2排出量）を評価項目に追加すべきとの指摘があり、市側は反映を表明。②優先順位は拠点避難所、開設実績、収容人数を基準とする方針を説明。③熱源比較の13年償却の妥当性、④災害時レジリエンス、⑤既存設備活用、⑥ガス安全性、⑦物価上昇対応、⑧事業者提案の妥当性などが論点となりました。

指定避難所等空調設備整備の詳細は※HPご参照

PCはこちら▼　スマホはこちら▼

https://nakayama-dai.com/

中山大　公式



★資料②:指定避難所等空調設備整備計画策定業務の現況について